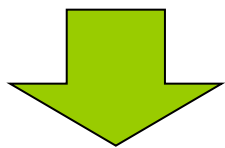


越前市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 19年11月～25年3月)

【中心市街地を巡る状況】

- 越前中心市街地は、1300年前から越前国の国府として、北陸道の玄関口として発展
- 中心市街地に寺社が77箇所集積
- 昔ながらの町屋から郊外の一戸建てに人口が流出

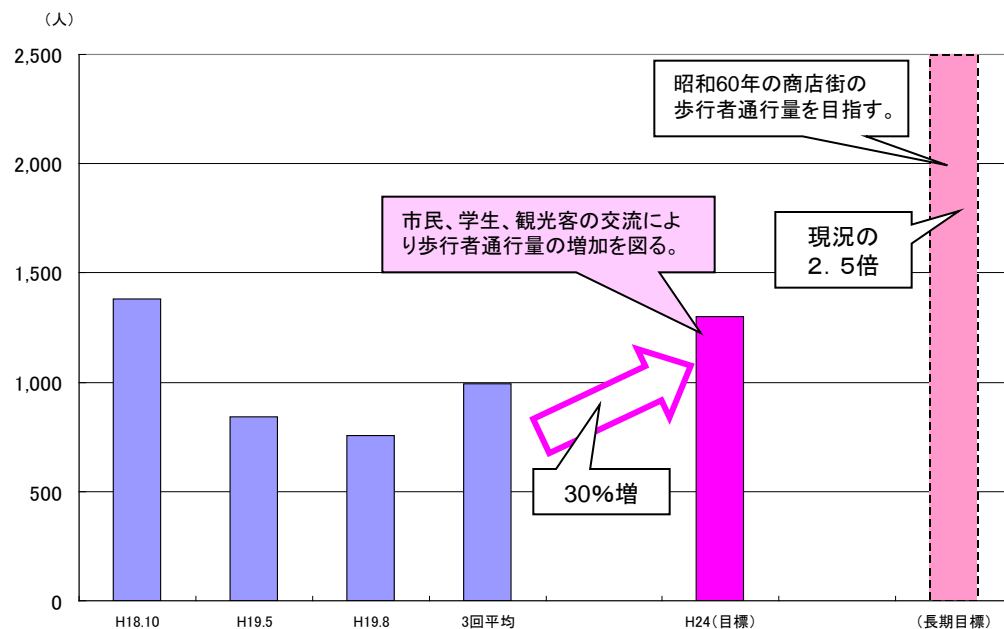


- 中心市街地の人口減少
H4: 8,896人 → H19: 6,320人 (Δ29%)
- 小売商業年間販売額
H9: 138億円 → H16: 98億円 (Δ29%)

【目標】

目標	指標	現況値	目標値(H24)
住みよく、多様な住まい方が選択できる中心市街地	居住者数	6,320人	6,450人
多様な主体の活動と交流による“にぎわう”中心市街地	歩行者通行量	994人	1,300人

* 毎年3回調査(調査地点5箇所)
(まちなか観光による歩行者通行量(休日)の状況と数値目標)



奈良時代から国府として整備され、和紙と打刃物で栄えた街並を舞台とした「まちなか観光」に加え、集中的な居住施策により、交流人口と居住人口を増やし、中心市街地のにぎわいを取り戻す。

越前市中心市街地活性化基本計画の事業概要

まちなか観光の推進

- 観光客向け駐車場の整備
来街者用の**時間制無料駐車場**(観光バス2台、乗用車30台)を整備
- 伝統工芸品・観光PRセンター
伝統工芸品の展示と総合観光案内を兼ねた**PRセンター**を駅前**に設置**する。
- まちなか散策ルート整備
旧計画に引き続き、寺社群や伝統的な建物が残る地区を道路景観整備及び街並み修整、サイン等を整備し回遊コースとする。



- まちなか散策ツアー等の実施
越前市で最大の集客がある「たけふ菊人形」開催時期に、「語り部」による「まちなか観光ツアー」を実施



まちなか居住の推進

- 公有地の住宅建設目的への売却
市土地開発公社が所有する土地を民間に公募提案により売却し、住宅供給を促進
・JR武生貨物駅跡地(6,039㎡)
80戸の高齢者向け施設として売却
・武生商工会議所跡地(2,322㎡)
景観に配慮した住宅の建設
- 各種住宅補助制度の創設
中心市街地での様々な住宅建設に対する需要に対し、**中心市街地限定の補助事業**を実施
- 空き家再生の都市再生モデル調査
大学生により、町屋を現代でも住み続けることが可能な改修を行い、古い町並みを残しながら現代生活と共存できる取組を実施



改修する町屋



内部のリフォーム状況

まちなかイベントの実施

- 蔵の辻の活用
現在、「壺の市」として月1日のイベントを実施している「蔵の辻」で、**全ての休日でイベントを実施**、近郊の市民が中心市街地に来訪する機会を創出する。



蔵の辻での市のにぎわい



蔵の辻

- タンス町交流施設「匠の駅」
タンス町の職人による、住まいの相談やものづくりが体験できる「**匠の駅**」を設置



タンス町